

科目名	グローバル時代の文学				授業形態	開講期間	12月10日～2月4日		
	英文科目名	Literature in Globalization			①対面授業 ②オンライン授業 ③対面・オンライン併用 復習用ビデオの録画・配信	開講時間	金曜日 第4講時 15:00～16:30		
受講定員等	担当教員	上田 望				開講場所	金沢大学		
	単位数	1単位				成績評価の方法	授業には3分の2以上の出席を必要とする。S(達成度90%～100%)、A(同80%～90%未満)、B(同70%～80%未満)、C(同60%～70%未満)を合格とし、以下を不合格とする。不可(達成度60%未満)。具体的な評価の方法(試験の形式など)は第1回の講義時に指示をする。		
定員数	50名								
	特別聴講学生等定員	} 5名							
	科目等履修生定員								
	シティカレッジ聴講生定員								
	定員超過時の選考方法等	受付順							
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				シティカレッジ聴講生 (社会人で単位を必要としない者)
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間：金沢大学で確認				受講料
				教員の指示に従う	9,800円	28,200円	14,800円	教員の指示に従う	
科目の内容	この授業では実際に文学体験をしてもらいます。その実際の体験に基づき、文学作品の読み方、文学作品の向こう側にある社会・文化・思想といった「文脈」を読み解くことの重要性を学びます。予習では、世界各地域の日本語、英語、フランス語、中国語による文学作品から選定された短編(翻訳)を読み、教科書を用いて各作品の読み方や作品を囲む文化・社会・思想的な背景についてのイメージを掴んでおいてください(授業における理解度を高め、また、ディスカッションの質を向上させるため、予習には少なくとも2時間以上を充てること)。授業では、各作品の読み方・解釈についての確認と補足的な説明を教員が行います。また、グループ・ディスカッションなどのアクティブラーニングを通じて、それぞれの作品の読みを深めてもらいます。								
	<p>第1回 「グローバル時代の文学」序論</p> <p>第2回 中国語文学</p> <p>第3回 フランス語文学</p> <p>第4回 英語文学(イギリス)</p> <p>第5回 英語文学(アメリカ)</p> <p>第6回 日本語文学</p> <p>第7回 予備日(いずれかの地域についての補足)</p> <p>第8回 総論・全体ディスカッション (なお、上記スケジュールは日程が変更される場合があります。ガイダンスの時の指示に従ってください。)</p>								
授業担当教員紹介								URL	
ホームページ・メールアドレス等								E-mail	nueda@staff.kanazawa-u.ac.jp
								その他特記事項	オリジナルテキスト・授業用資料を金沢大学生協から購入するか、以下のURLにアクセスし、この授業に該当するリンク先からテキスト・授業用資料をダウンロードもしくは印刷して必ず授業時に持参すること。 http://ilas.w3.kanazawa-u.ac.jp/students/subject/gs/gs.text/ ※リンク先へのアクセスには、「金沢大学ID」が必要です。幹幹教育学務係に申し出ること。